



ふくせん兵庫県ブロック 電動車椅子の安全利用のための研修会を開催

去る7月28日、ふくせん兵庫県ブロックは、一般財団法人 JASPEC 様に会場をご提供いただき、「電動車椅子の安全利用のための研修会」を開催した。

電動車椅子は、歩行に困難を感じる高齢者にとっての移動手段や、自動車運転免許を返納した高齢者の代替移動手段として、近年広く普及しつつある一方、消費者庁による「消費生活用製品の重大製品事故に係る公表」によると、電動車椅子の事故が多発している状況。

電動車椅子は運転免許の取得が不要で、近距離の移動など便利な反面、高齢者の利用が多く、早歩き程度の速度で動くことや、歩道や施設内でも走行できることなどから、自動車との衝突事故や利用中の転倒・転落などに加え、他の歩行者に接触するなど、様々なリスクも生じている。また、身体状況や認知機能は利用者によっても大きく異なるため、電動車椅子の貸与に携わる福祉用具専門相談員には、利用者が安全に利用できるかどうかの事前の評価や、利用者に安全に利用してもらうための説明や指導が求められている。

本研修会は、ふくせんが令和2年度実施した、「ハンドル形電動車椅子の安全利用に係る調査研究事業」において作成した「ハンドル形電動車椅子の貸与実務における安全利用のためのガイドライン」と「ハンドル形電動車椅子の貸与実務における安全利用のための指導手順書」を用いたカリキュラムとした。

内容	テーマ	講師
講義 1	電動車椅子の安全利用に関する福祉用具専門相談員の役割	兵庫県立リハビリテーション中央病院 長倉 寿子氏 (前厚生労働省老健局高齢者支援課指導官)
講義 2	電動車椅子による事故原因及び導入時の注意点 兵庫県警作成の動画視聴	兵庫県警察本部交通部交通企画課
研修説明	電動車椅子の現状について	ふくせん事務局
実技	電動車椅子の貸与実務 に関するペアワーク	電動車椅子安全普及協会(以下、電安協) (株式会社セリオ)

講義1では昨年度まで厚生労働省老健局高齢者支援課において福祉用具・住宅改修指導官をされていた長倉氏より、「電動車椅子の安全利用に関する福祉用具専門相談員の役割」と題し講義をいただいた。

ふくせんの令和2年度老健事業「ハンドル形電動車椅子の安全利用に係る調査研究事業」と、日本福祉用具供給協会による令和4年度老健事業「介護保険における福祉用具の利用安全及びサービスの質の向上に資する事業所の体制を強化するための調査研究事業」の調査報告内容を交え、本研修の電動車椅子の導入に限らず、その他の福祉用具貸与・販売に対しても、安全に利用できるよう支援することが福祉用具専門相談員に求められるとした。さらに、「日々の業務において、福祉用具貸与・販売事業所は、事業所単位でデータを蓄積し、安全性を含めたサービス結果等の分析やそれらの情報共有、フィードバックを活用した PDCA サイクルを推進し、ケアの質の向上に取り組むことが重要である。今回のような研修等を通して、福祉用具専門相談員の資質向上のための取り組みを継続いただきたい」と結んだ。



講義をする長倉氏及び講義を聞く受講生



講義をする長倉氏

講義 2 では、兵庫県警察本部交通部交通企画課梶野氏により、「電動車椅子による事故原因及び導入時の注意点」についてのお話に加えて、「兵庫県庁・兵庫県警・(株)セリオ」の共同制作動画による啓発活動の紹介も頂き、電動車椅子を安全に利活用するための講義をいただいた。



兵庫県警動画視聴



兵庫県警 交通企画課梶野氏による講義

「研修説明・実技」では、ふくせん本部・兵庫県事務局より、消費者庁が公表している直近の「消費生活用製品の重大製品事故一覧」から、電動車椅子を中心とした事故情報について報告し、受講者に対し改めて注意喚起と、福祉用具サービス計画の「利用計画」の書式にある「留意事項」への状態・状況に合わせた記載の徹底について説明を行い、続いて電動車椅子の貸与実務に関するペアワークを実施した。



【受講参加頂きました事業者様】(五十音順)
 セカンドライフ(株)安上工務店
 (株)トーカイ
 (株)ひまわり
 フランスベッド(株)
 (株)ポート・リハビリサービス
 (有)まつもと(テツコの部屋)
 (株)ヤマシタ
 ありがとうございました。

研修会講義の前に、会場を提供いただいた JASPEC 鈴木代表理事による車いすの安全整備についての説明も頂いた。鈴木氏は『電動車椅子も車いすも利用にあたってのメンテナンスや注意点は同じであるので、提案する福祉用具専門相談員は、導入時だけでなくモニタリングを含め、定期的に状況を確認いただき安心して提供できることを心がけて頂きたい。また本研修受講により事業所内で申し送りしていただきたい』と話された。

【浦野兵庫県ブロック長より】

今回は、日頃交流させて頂いている兵庫県警察様、JASPEC 様のご協力により開催できました。「安全」に対する思いは、立場は違っても皆同じであると再認識致しました。ブロック各地の地域資源の最大限の活用と業界外への声掛け、専門相談員の意識・技術の資質向上と事故防止に繋げていただければと思います。最後に、ペアワークに協力いただいた電安協会の(株)セリオの皆様、本当にありがとうございました。

【ふくせん本部より】

ふくせんでは、昨年度からブロック研修会等で本テーマを取り上げており、電動車椅子を安全にご利用いただくための取り組みとして今後も強化、推進してまいります。